



令和6年3月1日
政策統括官付 情報活用推進課

「不動産情報ライブラリ」の運用を開始します

～スマートフォンで「誰でも」「簡単に」不動産に関するオープンデータの閲覧ができます～

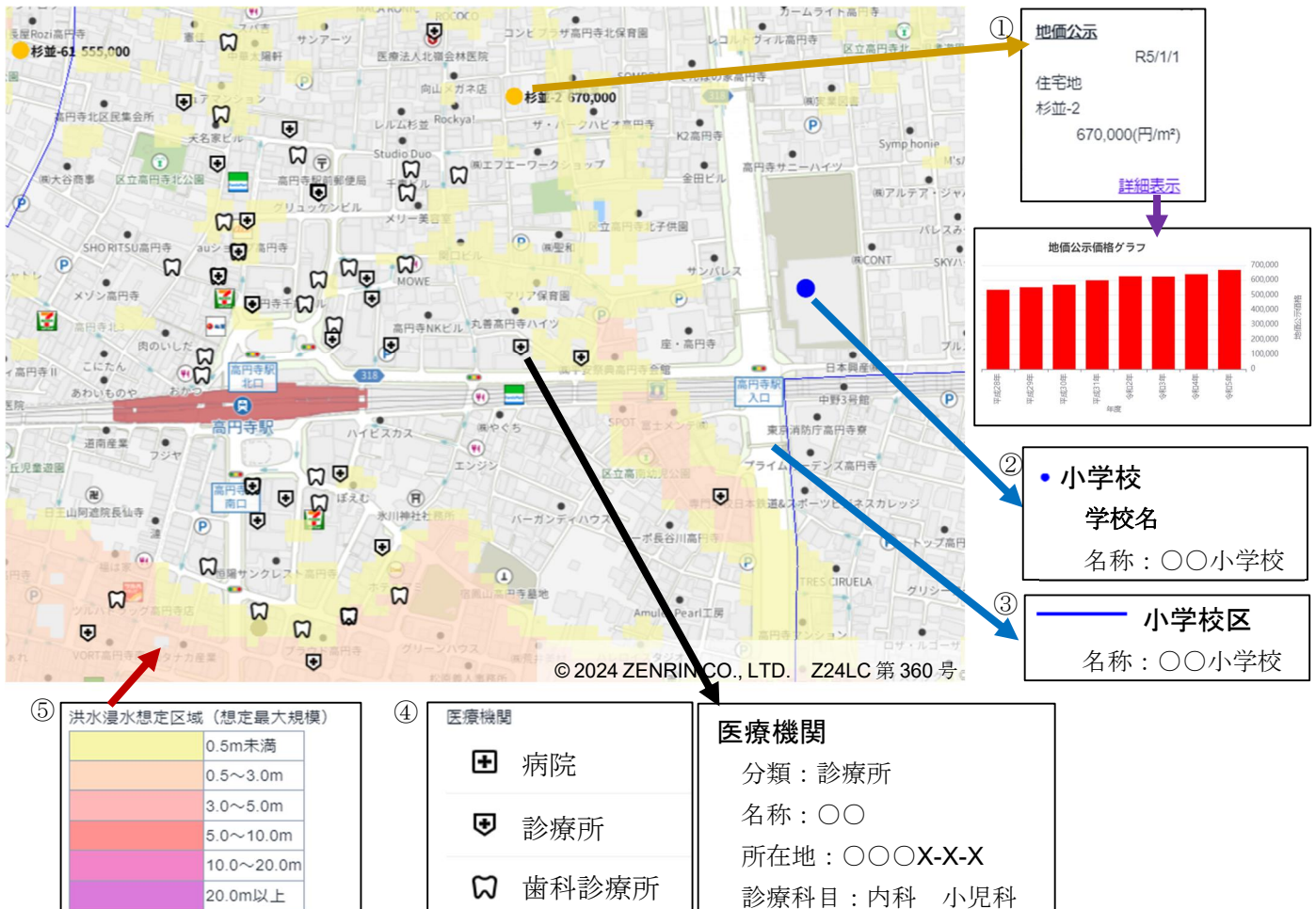
国土交通省では、円滑な不動産取引を促進する観点から、オープンデータ等を活用し、不動産取引の際に参考となる情報（価格、周辺施設、防災、都市計画など）を重ね合わせて表示させる WebGIS システム「不動産情報ライブラリ」の運用を令和6年4月1日より開始します。

1. 概要

不動産取引の際に参考となる情報の多くは、国や地方自治体などで様々な形式で公開されていますが、「不動産情報ライブラリ」（以下「ライブラリ」といいます。）ではこれらの情報を集約し、複数のデータを同じ地図表示に重ね合わせて閲覧することができます。「ライブラリ」の利用にあたっては、特別なソフトを必要とせず、スマートフォンやタブレットからの閲覧にも対応する予定です。

「ライブラリ」の背景地図に、①令和5年地価公示、②学校、③小学校区、④医療機関、⑤洪水浸水想定区域を重ね合わせた場合の画面イメージは下図のとおりです。

【画面イメージ（開発中のもの）】



2. 主な掲載予定情報

情報の種類	掲載予定情報
価格	地価公示、都道府県地価調査、不動産取引価格情報(※1)、成約価格情報(※2)
周辺施設等	学校、小・中学校区、市町村役場等、医療機関、福祉施設 など
防災	洪水浸水想定区域、土砂災害警戒区域等、津波浸水想定 など
都市計画	用途地域、防火・準防火地域、立地適正化区域 など
その他	将来推計人口（500m メッシュ；2050年まで（5年間隔）） など

※1 現在、地価公示、都道府県地価調査、不動産取引価格情報については「土地総合情報システム」で公開していますが、令和6年度以降、これらの情報を「ライブラリ」で公開する予定です。
※2 成約価格情報は、指定流通機構（レインズ）保有の不動産取引にかかる情報を、国土交通省が個別の不動産取引を特定できないよう加工し、消費者向け不動産取引情報サービスである「レインズ・マーケット・インフォメーション」（RMI）にて公表している情報となります。

3. API 機能を利用した情報の公開

「ライブラリ」に掲載している情報を API で無償公開します（※）。API の利用を希望される方は、「ライブラリ」内の申請ページより申し込みしていただく必要があります。

※「ライブラリ」に掲載している情報の中には、外部サイトの情報提供サービスを利用して画面に表示しているものもあります。これらの情報については、当該サイトのサービスをご利用ください。

4. 運用開始予定日時

令和6年4月1日10時より、次の URL または、右記 2 次元コードから「ライブラリ」の閲覧が可能となります。（運用開始までは閲覧できません）
URL : <https://www.reinfolib.mlit.go.jp/>



不動産情報ライブラリ

5. 今後の展開

運用開始後、利用者アンケート等によりニーズを把握し、より利便性の高いシステムとなるよう、掲載情報の追加・変更等を検討する予定です。

6. その他

「ライブラリ」の掲載予定情報や、想定している利用イメージなどについては、次の「ライブラリ」の概要紹介のページでご確認いただけます。

https://www.mlit.go.jp/tochi_fudousan_kensetsugyo/chirikukannjoho/tochi_fudousan_kensetsugyo_fr17_000001_00016.html

また、情報活用推進課の X アカウントでも、最新情報をお知らせする予定です。

アカウント名：【公式】国土交通省政策統括官付情報活用推進課

ユーザー名：@GIS_MLIT

URL：https://twitter.com/GIS_MLIT



不動産情報ライブラリとは



X アカウント

（報道関係者向けデモンストレーション）

3月15日（金）14時から、報道関係者を対象とした「ライブラリ」のデモンストレーションを行います。実際の表示画面を確認いただけるほか、操作体験いただくことも可能です。参加を希望される方は、開始時間までに国土交通省（中央合同庁舎第3号館）5階会見室にお集まりください。

【問い合わせ先】政策統括官付情報活用推進課 荒川、永井
電話：（代表）03-5253-8111（内線 29-823、29-825）／（直通）03-5253-8353